

基本目標	主な内容	主な施策	番号	事業名	事業の概要	平成27年度実施結果	平成27年度事業の評価 事業・施策の実施に関して あてはまるものを選択してください。				取組みの課題 事業・施策の実施に関して あてはまるものすべてに○を選択してください。						平成28年度事業計画 取組み課題への改善策	担当課	
							① 実施状況	② ニーズの方向性	③ 見直しの余地	④ 方向性	① ニーズに関する課題 (事業がニーズと合っていないなど)	② 広報・啓蒙に関する課題 (認知度が低いなど)	③ 実施体制の課題 (人員不足・業務多忙・教育不足など)	④ 関係機関・事業者との連携不足など	⑤ 事業が足りない課題 (予算が足りないなど)	⑥ その他の課題			
農業の成長産業化	農業の競争力強化に向けて基盤の強化を図ります	新規就農を農に備わけて人材育	1	農業体験実習生受入事業	18歳～40歳までの農業に関心のある未婚の女性。4月～10月までの間、1ヶ月～6ヶ月まで受け入れる。	2名の実習生を受け入れ、1人は本町農業者と結婚に至り、もう1人は、農業法人の従業員として本町に在住している。	A: 概ね計画通りに実施	A: 増加の方向にある	C: 見直す必要がない	A: 拡大する必要がある							更に積極的に受け入れし、交流人口の拡大や、本町に定住して頂けるよう事業を推進してゆきたい。	産業課	
			2	農業体験宿泊施設整備	H26年度補正にて、実施済み。 (屋根・壁塗装・窓防犯フィルム貼り他)	—												特になし	産業課
			3	新規就農受入事業	年齢概ね22歳～45歳までの方で、心身とも健康な方。住宅家賃助成、営農支援助成、その他就農後の営農支援制度有り。	2名の新規就農予定者を受け入れた。	A: 概ね計画通りに実施	A: 増加の方向にある	C: 見直す必要がない	A: 拡大する必要がある								更に積極的に受け入れし、本町に定住して頂けるようサポートして、農業の担い手確保と人口増につなげてゆきたい。	産業課
			4	農産センター構想の推進	新規就農対策、農業担い手対策、農業経営法人化対策	北竜町担い手育成対策検討会を立ち上げ、担い手育成センター設置に向けた検討を開始した。	A: 概ね計画通りに実施	A: 増加の方向にある	C: 見直す必要がない	A: 拡大する必要がある								今後、新規就農者受け入れの母体となる様更に発展させたい。	産業課
			5	「ひまわりライス」生産事業	生産情報公表JASを導入し、安心安全な北竜町産米のブランド強化を図る。	引き続き取り組んだ結果、うち29,181俵、もち6,577俵の実績であった。	A: 概ね計画通りに実施	B: 現状と変わらない	C: 見直す必要がない	B: 現状のまま								引き続き取り組みたい。	産業課
			6	メロンすいかハウス生産事業	特産品(メロン・すいか)生産のハウス増設・更新及び新規生産者に対し、助成を行い、特産品生産の維持・増進を図る。	北竜町特産品栽培ハウス支援補助金交付要領を制定し、結果増設14棟926m、更新9棟522mの実績があった。	A: 概ね計画通りに実施	B: 現状と変わらない	C: 見直す必要がない	A: 拡大する必要がある								引き続き特産品生産維持・拡大に取り組んでゆきたい。	産業課
			7	黒千石大豆作付奨励金	町内の農地に、黒千石大豆を作付けする場合の種子購入助成として、反当2千円を補助する。	昨年度実績39.6haに作付けされ、引き続き取り組んだ。	B: 75%程度実施	B: 現状と変わらない	C: 見直す必要がない	A: 拡大する必要がある					○			黒千石事業協同組合と連携して、引き続き黒千石作付けの維持・拡大に取り組んでゆきたい。	産業課
			8	畑作緑肥作物導入事業	畑地の地力増進対策として、緑肥作物導入に対し助成を行い、畑作振興に寄与する。	昨年度実績19.89haに導入され、引き続き取り組んだ。	A: 概ね計画通りに実施	B: 現状と変わらない	C: 見直す必要がない	B: 現状のまま								畑作の振興のため、引き続き取り組んでゆきたい。	産業課
			9	中山間地域直接支払制度	農業生産条件の不利を補正することにより、耕作放棄地の発生防止や機械・農作業共同化等、農業生産活動を将来に向けて維持するための活動を支援する。	昨年度実績1,328.71ha、引き続き取り組んだ。	A: 概ね計画通りに実施	B: 現状と変わらない	C: 見直す必要がない	B: 現状のまま								農業振興のため、引き続き取り組んでゆきたい。	産業課
			10	多面的機能支払制度	農業者等の組織が取り組む、農地維持のための地域資源の基礎的保全活動や、地域住民を含む組織が地域資源の質的向上を図る共同活動や施設の長寿命化の活動を支援する。	昨年度実績2,779.41ha、引き続き取り組んだ。	A: 概ね計画通りに実施	B: 現状と変わらない	C: 見直す必要がない	B: 現状のまま								農業振興のため、引き続き取り組んでゆきたい。	産業課
			11	北竜町農産物販路拡大	北竜町の農産物、特にひまわりライスの安全性をアピールし、国内は元より台湾など諸外国での販売などを視野に入れ販路拡大を目指す。	新米まつり、オータムフェスト、どさん子プラザ空知フェアなどの催しに、積極的に参加をしPRIに努めたが、諸外国の販路拡大はできなかった。	B: 75%程度実施	B: 現状と変わらない	C: 見直す必要がない	B: 現状のまま					○	○		引き続き、新米まつりやオータムフェストなどでの販路拡大を行ってゆきたい。	産業課
特産品を活			12	ひまわり油再生プロジェクト	日清オイリオ・JAきたそらち・生産者部会と協議し、平成15年に途絶えたひまわり油の再生に向けて調査研究を行う	協議会準備会議 4回 協議会 2回 事業計画の策定	A: 概ね計画通りに実施	A: 増加の方向にある	C: 見直す必要がない	A: 拡大する必要がある						試験作付6.03ha 生産・収穫・乾燥 北竜町 搾油 名寄ひまわり工房 精製・商品化 日清オイリオグループ 試作品 150ml 9,000本	企画振興課 産業課		
			13	農村・農業創業支援	北竜町の資源を生かした創業・起業の機運醸成を行い、創業・起業を支援し、雇用の創出・発掘を図る	—	E: 着手することができなかった	A: 増加の方向にある	C: 見直す必要がない	A: 拡大する必要がある				○			北竜町の資源を生かした創業・起業の機運醸成を行い、創業・起業を支援し、雇用の創出・発掘を図る	企画振興課 産業課	

基本目標	主な内容	主な施策	番号	事業名	事業の概要	平成27年度実施結果	平成27年度事業の評価 事業・施策の実施に関して あてはまるものを選択してください。				取組みの課題 事業・施策の実施に関して あてはまるものすべてに○を選択してください。						平成28年度事業計画 取組み課題への改善策	担当課		
							① 実施 状況	② ニ ー ズ の 方 向 性	③ 見 直 し の 余 地	④ 方 向 性	① （事業が ニーズと 合ってい ないなど）	② （広報・啓蒙に 関する課 題）	③ （実 施体制の 課題 ・業務多 忙・教 育不足な ど）	④ （関係機 関・事業 者との連 携に不足 など）	⑤ （事業予 算が足り ないなど）	⑥ （その 他の課題）				
I 地域における安定した雇用を創出する	農業の六次産業化を促進します	14	ひまわりナッツ生産事業	ナッツ用ひまわりの種生産委託。乾燥皮むき整粒したものを100kg生産。全量振興公社へkg当たり500円で販売。	製品実績140kgを生産した。全量公社へ売却した。	A:概ね計画通りに実施	B:現状と変わらない	C:見直す必要がない	B:現状のまま								引き続き取り組みたい。	産業課		
		15	食農工房パルム整備事業	加工器具等の備品の更新や、地場農産物を活用した加工品の普及と町民相互の交流等地域の活性化を図る。	団体数 団体、延べ 人利用した。購入備品として、縦型ミキサーを購入し利用促進に努めた。	A:概ね計画通りに実施	B:現状と変わらない	C:見直す必要がない	B:現状のまま									引き続き取り組みたい。	産業課	
		16	農畜産物直売所みのりっち北竜の充実	出荷者(生産者)の育成や自家野菜の販売に加え、北竜町の特産品の販売を行う。	売上額実績約32,000千円。引き続き販売に取り組んだ。	A:概ね計画通りに実施	A:増加の方向にある	C:見直す必要がない	B:現状のまま									POSの改修で生産者の利便性を高め、売り上げ増進に引き続き努力したい。	産業課	
		10	北竜町農産物販路拡大(再掲)	北竜町の農産物、特にひまわりライスの安全性をアピールし、国内は元より台湾など諸外国での販売などを視野に入れ販路拡大を目指す。	新米まつり、オータムフェスト、どさん子プラザ空知フェアなどの催しに、積極的に参加をしPRに努めたが、諸外国の販路拡大はできなかった。	B:75%程度実施	B:現状と変わらない	C:見直す必要がない	B:現状のまま				○	○				引き続き、新米まつりやオータムフェストなどでの販路拡大を行ってゆきたい。	産業課	
	観光の競争力強化	北竜温泉の経営改善	17	サンフラワーパーク北竜温泉経営改善計画の策定	サンフラワーパーク北竜温泉の経営改善に向けて、地域力創造アドバイザーより指導助言を行い、改善計画を策定する	地域力創造アドバイザーより4回の指導助言を受ける	C:50%程度実施	A:増加の方向にある	B:一部見直す必要がある	A:拡大する必要がある			○	○				引き続き地域力創造アドバイザーより指導助言を受ける	企画振興課	
			18	サンフラワーパーク北竜温泉大規模改修事業	源泉井戸の掘削、老朽配管の取替え、サンフラワーパーク北竜温泉経営改善計画に沿った改修事業	—		A:増加の方向にある	B:一部見直す必要がある	A:拡大する必要がある									源泉井戸の掘削ポウリング事業の実施大規模改修事業実施計画書の作成	企画振興課
		観光の競争力強化	19	ひまわりの里景観整備事業	ひまわりの里の景観・施設整備を図り、ひまわり観光による交流人口の拡大を図る	駐車場看板の設置やノンノの森整備などを行いお客様の利便性を高め、対前年比9%増、過去2番目262千人の観光客に会場頂いた。	A:概ね計画通りに実施	B:現状と変わらない	C:見直す必要がない	A:拡大する必要がある									ノンノの森やトイレの改修を行い、更なる来場者増につなげたい。	産業課
			20	観光の国際化	パンフレットや各種表示の国際化。	観光パンフレットの繁体語バージョンの作成を行った。	A:概ね計画通りに実施	A:増加の方向にある	C:見直す必要がない	A:拡大する必要がある									英語バージョンなどの作成を検討したい。	産業課
			地元企業の活性化を支援	21	多目的商業複合施設計画策定	エコープ北竜店撤退による代替店舗等の建設及び買い物弱者サービス・地域コミュニティスペースの実施計画を立てる	アンケート結果に対応するため、8回に亘る検討委員会で検討したが、入店予定だったスーパーの撤退により足踏み状態となった。	C:50%程度実施	A:増加の方向にある	B:一部見直す必要がある	B:現状のまま	○				○			ホクレン商事の営業延期を願い、H29年度補助事業で行くか、単費で建設するか早期に決定したい。	産業課 企画振興課
				22	多目的商業複合施設整備	エコープ北竜店撤退による代替店舗等の建設。用地買収並びに整地及び建設。	一部土地の購入とコンサルタントによる図面整備を行った。	C:50%程度実施	A:増加の方向にある	B:一部見直す必要がある	B:現状のまま	○					○			用地買収と移転費等の費用支払いにより用地を確定し、入店方法も検討したい。
23	店舗新築等整備助成事業	店舗等の新築・増築・改築による助成事業。費用の1/5で新築200万円、改築等150万円を限度に助成。		実績なし		B:現状と変わらない	C:見直す必要がない	A:拡大する必要がある						○			要望があれば対応したい。	産業課		
地元企業の活性化を支援	24	機器等設備整備助成事業	店舗等の設備に対する助成事業。費用の1/4で100万円を限度に助成。	実績なし		B:現状と変わらない	C:見直す必要がない	A:拡大する必要がある						○			要望があれば対応したい。	産業課		
	25	新規開業等運転資金助成事業	新規開業や事業の継承に対する助成事業。土地建物などの賃借料や、水道光熱費、備品のリース料に対し、1/2で月額5万円を限度に助成。	実績なし		B:現状と変わらない	C:見直す必要がない	A:拡大する必要がある						○			要望があれば対応したい。	産業課		

基本目標	主な内容	主な施策	番号	事業名	事業の概要	平成27年度実施結果	平成27年度事業の評価 事業・施策の実施に関して あてはまるものを選択してください。				取組みの課題 事業・施策の実施に関して あてはまるものすべてに○を選択してください。						平成28年度事業計画 取組み課題への改善策	担当課
							① 実施 状況	② ニ ー ズ の 方 向 性	③ 見 直 し の 余 地	④ 方 向 性	① （ 事 業 が ニ ー ズ と 合 っ て い な い な ど ）	② （ 認 知 度 が 低 い な ど ）	③ （ 実 施 体 制 の 課 題 多 忙 ・ 教 育 不 足 な ど ）	④ （ 携 帯 機 関 ・ 事 業 者 と の 連 携 不 足 な ど ）	⑤ （ 予 算 が 足 り な い な ど ）	⑥ （ そ の 他 の 課 題 ）		
							地元企業の支援	雇用創出を図ります	26	中小企業保障融資利子補給等	中小企業者の金融対策として、信金の協力により、一般資金40,000千円(町保障金10,000千円)、施設特別資金57,000千円(町保障金16,600千円)の利子補給	昨年度実績一般6件110千円、特別5件48千円、元気支援応援522千円。	A:概ね計画通りに実施	A:増加の方向にある	C:見直す必要がない	A:拡大する必要がある		
		27	雇用創出助成事業	町内事業所(商工会員)が本商工業振興事業の取組みに伴って新規雇用創出し、その者が町内に住所を置く場合の人件費支援 雇用保険一般被保険者に対する2年間	実績なし		B:現状と変わらない	C:見直す必要がない	B:現状のまま				○			要望があれば対応したい。	産業課	
		28	若年者雇用定着助成事業	町内事業所(商工会員)が15歳以上35歳以下の者を採用し、その者が町内に住所を置く場合の人件費支援 雇用保険一般被保険者に対する1年間	実績なし		B:現状と変わらない	C:見直す必要がない	B:現状のまま				○			要望があれば対応したい。	産業課	
	地域に密着した雇用の創出を図ります	29	地域づくり人材育成助成事業	まちづくりに資する人材の育成を図る講演会・研修会の開催、コンサート・イベントの開催、研修視察の実施、まちづくりに資する資格の取得支援	講演会開催費 1回 雇用創出印刷製本費 1回 イベント参加費 1回	C:50%程度実施	B:現状と変わらない	C:見直す必要がない	A:拡大する必要がある				○			広報等により周知を図り、まちづくりに資する人材の育成を図る	企画振興課	
		30	介護基盤(グループホーム)整備事業	平成27年度に介護サービス基盤等整備事業により整備するグループホーム(9床増床)非営利活動法人リスペクトに対し、同補助金を交付する。	介護サービス提供基盤等整備事業交付金により、グループホーム9床増床を実施した。施設整備 34,560千円、開設準備経費 3,697千円	A:概ね計画通りに実施	A:増加の方向にある	C:見直す必要がない	A:拡大する必要がある							28年度には計画がないが、29年度にスプリンクラー設置の計画がある。	地域包括支援センター	
		31	地域支え合いセンター整備事業	高齢化の進展にともない、独り暮らし高齢者の増加が予想される。そういった方や障がい者、子どもなど誰もが気軽に利用出来る「地域住民の憩いの場」となる拠点作りを行う。	地域の拠点となる施設整備の検討、更には地域ボランティアの組織結成に向けて、地域住民から募集を実施した	D:25%程度実施	B:現状と変わらない	B:一部見直す必要がある	A:拡大する必要がある				○	○	○	地域の拠点となる施設整備計画、並びにボランティアの組織結成、今後の運営について検討する。	住民課	
		32	地域おこし協力隊員の受入れ	都会の人材を受け入れ、本人が持つ技術技能を活かして、地域の活性化を図る	1人	A:概ね計画通りに実施	A:増加の方向にある	B:一部見直す必要がある	A:拡大する必要がある	○	○					スポーツインストラクター 1名 直売所みのりっち北竜店員及び農業従事者 1名	企画振興課	
		33	集落支援員の受入れ	集落の見守りを通して、集落の維持活性化を図る	2人	A:概ね計画通りに実施	B:現状と変わらない	C:見直す必要がない	B:現状のまま									企画振興課
		34	お試し移住体験受け入れ事業	移住策として、お試し移住のための体験プログラムを構築する	—	E:着手することができなかった	A:増加の方向にある	A:全部見直す必要がある	A:拡大する必要がある	○	○		○			関係機関と協議し、移住策として、お試し移住のための体験プログラムを構築する	企画振興課	
		35	お試し体験宿泊施設整備	移住策として空き家などを利用し、お試し移住のための施設整備を図る 桜岡住宅1棟4戸の改修	桜岡住宅1棟4戸の改修を行ったが一般転入者等に利用させている	C:50%程度実施	A:増加の方向にある	A:全部見直す必要がある	A:拡大する必要がある	○	○		○			移住策として空き家などを利用し、お試し移住のための施設整備を図る	企画振興課	
	移住	36	分譲地造成	移住定住策として市街地の空き地を活用し分譲地の造成を行い移住定住の促進を図る 土地購入費、登記委託料	—	E:着手することができなかった	A:増加の方向にある	C:見直す必要がない	A:拡大する必要がある							現在分譲地は1区画しかないため、移住定住策として市街地の空き地をリサーチし、活用し分譲地の造成を行い移住定住の促進を図る	企画振興課	

基本目標	主な内容	主な施策	番号	事業名	事業の概要	平成27年度実施結果	平成27年度事業の評価 事業・施策の実施に関して あてはまるものを選択してください。				取組みの課題 事業・施策の実施に関して あてはまるものすべてに○を選択してください。						平成28年度事業計画 取組み課題への改善策	担当課		
							① 実施 状況	② ニ ー ズ の 方 向 性	③ 見 直 し の 余 地	④ 方 向 性	① ニ ー ズ に 関 す る 課 題 (事業が ニ ー ズ と 合 っ て い ない な ど)	② 広 報 ・ 啓 蒙 に 関 す る 課 題 (認知度 が 低 い な ど)	③ 実 施 体 制 の 課 題 (人員不 足・業 務多 忙・教 育不 足な ど)	④ 関 係 機 関 ・ 事 業 者 と の 連 携に 関 す る 課 題 (連携 不 足な ど)	⑤ 事 業 予 算 が 足 り な い な ど)	⑥ そ の 他 の 課 題				
							II 地域への新しい人の流れを作る	移住・定住の推進	住受入れ対策を強化します	37	宅地取得奨励事業	定住促進のために分譲地購入費の1/2を上限100万円で助成	1件	A:概ね計画通りに実施	B:現状と変わらない	C:見直す必要がない			A:拡大する必要はある	○
38	持ち家取得奨励事業	定住促進のために新築建設費の1/2を上限200万円で助成	1件	A:概ね計画通りに実施	B:現状と変わらない	C:見直す必要がない				A:拡大する必要はある	○						定住促進のために新築建設費の1/2を上限200万円で助成	企画振興課		
39	民間賃貸住宅建設促進事業	移住定住を促す為賃貸住宅建設費へ助成する 単身 新築250万/戸 改築200万/戸 その他 新築300万/戸 改築250万/戸	単身者向け住宅1棟6戸1, 200万円助成	A:概ね計画通りに実施	A:増加の方向にある	C:見直す必要がない				A:拡大する必要はある								現状公営住宅の空きが無い状況のため、移住定住施策へ支障を来しているため、住宅政策と住宅ニーズの中で民間賃貸住宅について関係機関と協議検討を行う	企画振興課	
40	空家等リフォーム奨励事業	空家等を増築又は改築するための建築費を1/10以内 上限150万円を助成し、移住の受入れ及び定住の促進を図る	—	E:着手することができなかった	A:増加の方向にある	C:見直す必要がない				A:拡大する必要はある								空家対策協議会を設置し空き家対策計画を策定する中で、空家の有効活用と支援策について検討協議を行う	企画振興課	
①	農業体験実習生受入事業(再掲)	18歳～40歳までの農業に関心のある未婚の女性。4月～10月までの間、1ヶ月～6ヶ月まで受け入れる。	2名の実習生を受け入れ、1人は本町農業者と結婚に至り、もう1人は、農業法人の従業員として本町に在住している。	A:概ね計画通りに実施	A:増加の方向にある	C:見直す必要がない				A:拡大する必要はある								更に積極的に受け入れし、交流人口の拡大や、本町に定住して頂けるよう事業を推進してゆきたい。	産業課	
②	農業体験宿泊施設整備(再掲)	H26年度補正にて、実施済み。(屋根・壁塗装・窓防犯フィルム貼り他)	—															特になし	産業課	
③	新規就農受入事業(再掲)	年齢概ね22歳～45歳までの方で、心身とも健康な方。住宅家賃助成、営農支援助成、その他就農後の営農支援制度有り。	2名の新規就農予定者を受け入れた。	A:概ね計画通りに実施	A:増加の方向にある	C:見直す必要がない		A:拡大する必要はある								更に積極的に受け入れし、本町に定住して頂けるようサポートして、農業の担い手確保と人口増につなげてゆきたい。	産業課			
観光の競争力の強化を図りま	観光の振興・地域	観光の競争力の強化を図りま	41	ひまわり観光支援事業	北竜町の観光を担う、北竜町観光協会に対し補助を行い観光振興に努める。	昨年度実績3,600千円引き続き支援に取り組んだ。		A:概ね計画通りに実施	B:現状と変わらない	C:見直す必要がない	B:現状のまま							ひまわりまつり30周年記念行事を充実させるため、市町村振興協会より補助金を1,000千円申請したい。	産業課	
			42	観光強化に向けた調査研究	観光についての課題の調査研究を行い、観光振興に努める。	—		E:着手することができなかった	B:現状と変わらない	C:見直す必要がない	B:現状のまま			○	○				観光協会等から要望があれば対応したい。	産業課
			⑩	サンフラワーパーク北竜温泉経営改善計画の策定(再掲)	サンフラワーパーク北竜温泉の経営改善に向けて、地域力創造アドバイザーより指導助言を行い、改善計画を策定する	地域力創造アドバイザーより4回の指導助言を受ける		C:50%程度実施	A:増加の方向にある	B:一部見直す必要がある	A:拡大する必要はある			○	○				引き続き地域力創造アドバイザーより指導助言を受ける	企画振興課
			⑪	サンフラワーパーク北竜温泉大規模改修事業(再掲)	源泉井戸の掘削、老朽配管の取替え、サンフラワーパーク北竜温泉経営改善計画に沿った改修事業	—			A:増加の方向にある	B:一部見直す必要がある	A:拡大する必要はある								源泉井戸の掘削ポウリング事業の実施大規模改修事業実施計画書の作成	企画振興課
			43	道の駅EV充電器設備の設置	環境にやさしく、今後急速な普及が見込まれる電気自動車の充電器を道の駅駐車場に設置する	4基を設置		A:概ね計画通りに実施	A:増加の方向にある	C:見直す必要がない	A:拡大する必要はある			○					広報等により周知を図り、EV充電器の活用を図る	企画振興課
			44	道の駅オストメイトトイレの設置	道の駅トイレに直腸がんや膀胱がんなどにより、臓器に機能障害を負い、腹部に人工的に排泄を溜める袋を造設した人が、その袋を洗浄するための設備をトイレに設置する	—	E:着手することができなかった	A:増加の方向にある	C:見直す必要がない	A:拡大する必要はある								平成29年度に予定しているサンフラワーパーク北竜温泉の大規模改修に合わせて実施する	企画振興課	

基本目標	主な内容	主な施策	番号	事業名	事業の概要	平成27年度実施結果	平成27年度事業の評価 事業・施策の実施に関して あてはまるものを選択してください。				取組みの課題 事業・施策の実施に関して あてはまるものすべてに○を選択してください。						平成28年度事業計画 取組み課題への改善策	担当		
							① 実施 状況	② ニ ー ズ の 方 向 性	③ 見 直 し の 余 地	④ 方 向 性	① ニ ー ズ に 関 す る 課 題 (事業がニ ー ズ と 合 っ て い ない など)	② 広 報 ・ 啓 蒙 に 関 す る 課 題 (認知度が 低 い な ど)	③ 実 施 体 制 の 課 題 (人員不足 ・ 業 務 多 忙 ・ 教 育 不 足 な ど)	④ 関 係 機 関 ・ 事 業 者 と の 連 携 不 足 な ど	⑤ 事 業 予 算 が 足 り な い な ど	⑥ そ の 他 の 課 題				
ブランド化	す		45	十色(といろ)の風景事業	北竜町には何気ないところに「あ～いいな～」と思える素敵な景観をひまわりを含めといろ(十色)に分けて募集し、応募作品で北竜町のカレンダーを作成し、ふるさと北竜の再認識を図ります	11名より107点の応募 北竜町カレンダーを1,000部作成	A:概ね計画通りに実施	A:増加の方向にある	C:見直す必要がない	A:拡大する必要がある		○					ホームページやポータルサイトでPRを行いより多くの方が多くの作品の応募を行い、カレンダーとして配布することにより、ふるさと北竜の再認識を図ると共に、まちづくりへの歓喜を醸成する	企画振興課		
			46	ふるさと納税事業	地域資源を守り、北竜町を将来にわたって守っていくために、広く「北竜町ふるさと応援寄付金」を募集し、次の世代につなげていける住みよいまちづくりを進める。又北竜町の特産品の推進PRの為に寄付額に応じて返礼する。	25,439件 320,189,172円	A:概ね計画通りに実施	A:増加の方向にある	B:一部見直す必要がある	A:拡大する必要がある	○	○						企業版ふるさと納税も考慮し、心のふるさと北竜町応援隊になってもらえるように、感謝の心により親切丁寧な対応を取り、メールマガジンの発行によりリピーターや交流人口の増加、移住者の増加を図る	企画振興課	
			②⑩	観光の国際化(再掲)	観光パンフレットや各種表示の国際化。	観光パンフレットの繁体語バージョンの作成を行った。	A:概ね計画通りに実施	A:増加の方向にある	C:見直す必要がない	A:拡大する必要がある									英語バージョンなどの作成を検討したい。	産業課
若い世代の収入の安定	若者の雇用対策を図ります		④	農産センター構想の推進(再掲)	新規就農対策、農業担い手対策、農業経営法人化対策	北竜町担い手育成対策検討会を立ち上げ、担い手育成センター設置に向けた検討を開始した。	A:概ね計画通りに実施	A:増加の方向にある	C:見直す必要がない	A:拡大する必要がある								今後、新規就農者受け入れの母体となる様更に発展させたい。	産業課	
			27	雇用創出助成事業(再掲)	町内事業所(商工会員)が本商工業振興事業の取組みに伴って新規雇用創出し、その者が町内に住所を置く場合の人件費支援 雇用保険一般被保険者に対する2年間	実績なし			B:現状と変わらない	C:見直す必要がない	B:現状のまま					○		要望があれば対応したい。	産業課	
			28	若年者雇用定着助成事業(再掲)	町内事業所(商工会員)が15歳以上35歳以下の者を採用し、その者が町内に住所を置く場合の人件費支援 雇用保険一般被保険者に対する1年間	実績なし			B:現状と変わらない	C:見直す必要がない	B:現状のまま					○		要望があれば対応したい。	産業課	
			①	農業体験実習生受入事業(再掲)	18歳～40歳までの農業に関心のある未婚の女性。4月～10月までの間、1ヶ月～6ヶ月まで受け入れる。	2名の実習生を受け入れ、1人は本町農業者と結婚に至り、もう1人は、農業法人の従業員として本町に在住している。	A:概ね計画通りに実施	A:増加の方向にある	C:見直す必要がない	A:拡大する必要がある										産業課
			③	新規就農受入事業(再掲)	年齢概ね22歳～45歳までの方で、心身とも健康な方。住宅家賃助成、営農支援助成、その他就農後の営農支援制度有り。	2名の新規就農予定者を受け入れた。	A:概ね計画通りに実施	A:増加の方向にある	C:見直す必要がない	A:拡大する必要がある										産業課
			⑭	ひまわりナッツ生産事業(再掲)	ナッツ用ひまわりの種生産委託。乾燥皮むき整粒したものを100kg生産。全量振興公社へkg当たり500円で販売。	製品実績140kgを生産した。全量公社へ売却した。	A:概ね計画通りに実施	B:現状と変わらない	C:見直す必要がない	B:現状のまま										産業課
			⑮	食農工房パルム整備事業(再掲)	加工器具等の備品の更新や、地場農産物を活用した加工品の普及と町民相互の交流等地域の活性化を図る。	団体数〇団体、延べ〇人利用した。購入備品として、縦型ミキサーを購入し利用促進に努めた。	A:概ね計画通りに実施	B:現状と変わらない	C:見直す必要がない	B:現状のまま										産業課

基本目標	主な内容	主な施策	番号	事業名	事業の概要	平成27年度実施結果	平成27年度事業の評価 事業・施策の実施に関して あてはまるものを選択してください。				取組みの課題 事業・施策の実施に関して あてはまるものすべてに○を選択してください。						平成28年度事業計画 取組み課題への改善策	担当課		
							①実施状況	②ニーズの方向性	③見直しの余地	④方向性	①ニーズに関する課題 (事業がニーズと合っていないなど)	②広報・啓蒙に関する課題 (認知度が低いなど)	③実施体制の課題 (人員不足・業務多忙・教育不足など)	④関係機関・事業者との連携に関する課題 (連携不足など)	⑤事業予算の課題 (予算が足りないなど)	⑥その他の課題				
Ⅲ 若い世代の結婚・出産を継続支援	結婚・出産を継続支援	結婚・出産を支援します	⑯	農畜産物直売所みのりっち北竜の充実(再掲)	出荷者(生産者)の育成や自家野菜の販売に加え、北竜町の特産品の販売を行う。	売上額実績約32,000千円。引き続き販売に取り組んだ。	A:概ね計画通りに実施	A:増加の方向にある	C:見直す必要がない	B:現状のまま							産業課			
			⑳	ひまわり油再生プロジェクト(再掲)	日清オイリオ・JAきたそらち・生産者部会と協議し、平成15年に途絶えたひまわり油の再生に向けて調査研究を行う	協議会準備会議 4回 協議会 2回 事業計画の策定	A:概ね計画通りに実施	A:増加の方向にある	C:見直す必要がない	A:拡大する必要はある								企画振興課 産業課		
			㉑	農村・農業創業支援(再掲)	北竜町の資源を生かした創業・起業の機運醸成を行い、創業・起業を支援し、雇用の創出・発掘を図る	—	E:着手することができなかった	A:増加の方向にある	C:見直す必要がない	A:拡大する必要はある		○						企画振興課 産業課		
			29	地域づくり人材育成事業(再掲)	まちづくりに資する人材の育成を図る講演会・研修会の開催、コンサート・イベントの開催、研修視察の実施、まちづくりに資する資格の取得支援	講演会開催費 1回 雇用創出印刷製本費 1回 イベント参加費 1回	C:50%程度実施	B:現状と変わらない	C:見直す必要がない	A:拡大する必要はある		○						企画振興課		
			47	結婚祝金支給事業	町内に1年以上在住している者が結婚し、定住が見込まれる者(農業後継者、商工業後継者を除く)1組に対して50,000円を支給する	5件、250,000円	A:概ね計画通りに実施	B:現状と変わらない	C:見直す必要がない	B:現状のまま								引き続き継続して実施する	住民課	
			48	特定不妊治療費助成	北海道特定不妊治療費助成事業該当者に、不妊治療費のうち体外受精及び顕微鏡受精を受けている夫婦に対して治療費の一部を助成する。北海道の助成金を除いた額、治療1回上限150,000円	実績なし				B:現状と変わらない	C:見直す必要がない	B:現状のまま							北海道特定不妊治療費助成事業に基づき実施する。	住民課
			49	一般不妊治療費助成	特定不妊治療以外の不妊治療受給者に10万円を限度に治療費の2分の1を助成する	—													特定不妊治療以外の不妊治療受給者に100,000万円を限度に治療費の2分の1を助成する	住民課
			50	妊婦健康診査業務	町内に住所を有する妊婦に対して一般健康診査最大14回分、超音波検査最大14回分助成。	妊婦実数 15人 一般健康診査 延123回 超音波検査 延122回	A:概ね計画通りに実施	B:現状と変わらない	C:見直す必要がない	B:現状のまま									引き続き継続して実施する	住民課
			51	妊婦歯科診査業務	町内に住所を有する妊婦に対して妊娠中の歯科検診1回分について全額助成する。ただし、健診委託機関は町立歯科診療所のみとする。	3名	A:概ね計画通りに実施	B:現状と変わらない	B:一部見直す必要がある	B:現状のまま		○							妊娠中の歯科検診の必要性を周知し、利用者の増加につなげる。	住民課
			52	妊婦健診交通費助成	町外産婦人科医療機関に通う方に対し、交通費助成として28,000円分の商品券を交付	—													町外産婦人科医療機関に通う方に対し、交通費助成として28,000円分の商品券を交付	住民課
			53	出産祝金支給事業	北竜町に1年以上在住し、6ヶ月以上児童を養育している父母に200,000円を支給する	11件、2,200,000円	A:概ね計画通りに実施	B:現状と変わらない	C:見直す必要がない	B:現状のまま									引き続き継続して実施する	住民課
			54	乳幼児健康診査業務	乳幼児期の異常や育児不安等を早期に発見し、支援を行う(身体計測・問診・小児科診察・歯科診察・保健指導・栄養指導・歯科指導)。	3~4か月児健診 対象数12名 受診数11名 7~8か月児健診 対象数10名 受診数10名 10~11か月児健診 対象数11名 受診数10名 1歳6か月児健診 対象数11名 受診数11名 3歳児健診 対象数12名 受診数12名	A:概ね計画通りに実施	B:現状と変わらない	C:見直す必要がない	B:現状のまま									引き続き継続して実施する	住民課
			55	乳幼児等医療費助成事業	乳幼児、小学生、中学生の入院・通院に係る一部負担金を全額助成する	149件 1,616,330円	A:概ね計画通りに実施	B:現状と変わらない	C:見直す必要がない	B:現状のまま									引き続き継続して実施する	住民課

基本目標	主な内容	主な施策	番号	事業名	事業の概要	平成27年度実施結果	平成27年度事業の評価 事業・施策の実施に関して あてはまるものを選択してください。				取組みの課題 事業・施策の実施に関して あてはまるものすべてに○を選択してください。						平成28年度事業計画 取組み課題への改善策	担当課		
							① 実施 状況	② ニ ー ズ の 方 向 性	③ 見 直 し の 余 地	④ 方 向 性	① ニ ー ズ に 関 す る 課 題 (事業が ニ ー ズ と 合 っ て い ない など)	② 広 報 ・ 啓 蒙 に 関 す る 課 題 (認知度 が 低 い な ど)	③ 実 施 体 制 の 課 題 (人員不 足・業 務多 忙・教 育不足 など)	④ 関 係 機 関 ・ 事 業 者 と の 連 携 に 関 す る 課 題 (連携不 足など)	⑤ 事 業 予 算 が 足 り な い な ど)	⑥ そ の 他 の 課 題				
							望をかなえる			56	乳幼児栄養強化食品費助成	生活保護世帯、町民税非課税・均等割のみ世帯で、出生月から1歳の誕生月までの乳児に対し、乳児の健全な養育を促すため、経済的な理由により十分な栄養の摂取が困難な乳児に対して粉ミルク代を助成する	実績なし	A:概ね計画通りに実施	B:現状と変わらない	B:一部見直す必要がある			B:現状のまま	
57	任意予防接種費助成	インフルエンザ予防接種(高校生以下無料)、水痘予防接種、おたふく風邪予防接種、妊娠を希望する夫婦等の風疹予防接種の無料化	インフルエンザ(高校生以下)対象数238名 接種数148名 おたふく対象数33名 接種数11名 水痘(2回目)対象者9名 接種数 0名 風疹 接種数 3名	A:概ね計画通りに実施	A:増加の方向にある	B:一部見直す必要がある				A:拡大する必要がある		○						おたふくかぜ予防接種は2回接種が推奨されていることから助成対象、回数を拡大する。風疹予防接種助成については認知度が低いので、婚姻届時にも周知できるよう工夫していく。	住民課	
58	農業後継者対策推進事業	農業後継者の配偶者対策の推進やUターンなどの就農奨励事業の実施。	出会いツアーの開催や結婚相談など引き続き実施するも、結果が出なかった。	A:概ね計画通りに実施	B:現状と変わらない	B:一部見直す必要がある				B:現状のまま				○				出会いツアーの開催を旭川市でも行い少しでも出会いの場を作りたい。結婚相談も引き続き行いたい。	産業課	
59	商工業後継者対策推進事業	商工業後継者の配偶者対策の推進や就業定住奨励事業の実施。	実績なし	E:着手することができなかった	B:現状と変わらない	B:一部見直す必要がある				B:現状のまま				○				要望があれば対応したい。	産業課	
60	結婚支援対策調査事業	独身町民の結婚を応援し、結婚に対する気運の醸成や出会いの場の創出などを支援。	北海道主催の新たな出会いツアーに参加するも、結果が出なかった。	A:概ね計画通りに実施	B:現状と変わらない	B:一部見直す必要がある				B:現状のまま				○				今年についても参加するよう働きかけたい。	産業課	
61	保育所保育料減免	和保育所に入所する保育児童に対し、月額保育料を半額し、子育て支援を助長する	計画どおり実施、 2,372,750円	A:概ね計画通りに実施	A:増加の方向にある	B:一部見直す必要がある				A:拡大する必要がある									平成28年度より、保育料(月額基本分)を無料化する	住民課
62	保育所広域児童入所支援事業	町外の認可保育所に入所を希望する保育児童の子育て支援を助長する。	利用者なし、実績なし		B:現状と変わらない	C:見直す必要がない				B:現状のまま									ニーズの発生により対応	住民課
63	保育所施設整備	子どもの健やかな成長に必要な保育施設の維持・管理を図る。	網戸、トイレ配管、スロープ手すり修繕 528,228円	A:概ね計画通りに実施	B:現状と変わらない	C:見直す必要がない				B:現状のまま									必要に応じて対応	住民課
64	地域子育て支援センター運営業務	子育てに対する相談、悩みの解消、ちびっ子広場、ピカピカキッズ、ここにこベビーズの開催(保育所に入園する前の幼児)	計画どおり実施、 5,189,000円	A:概ね計画通りに実施	B:現状と変わらない	B:一部見直す必要がある				B:現状のまま									引き続き継続して実施	住民課
65	放課後児童対策事業	学童保育元気っ子クラブの開催(小学1年生~6年生)	計画どおり実施、 2,137,000円 (30名)	A:概ね計画通りに実施	B:現状と変わらない	C:見直す必要がない				B:現状のまま									引き続き継続して実施	住民課
子育て支援			66	学童保育料減免	保育料を1/2補助することにより、子育て世帯の経済的負担の軽減を図る。	実施なし											平成28年度より、小学校の夏・冬休みの期間(8月、12月、1月)の3ヶ月分の保育料を助成する	住民課		
			67	ひとり親対策支援事業	ひとり親家庭の児童が入院・通院したとき、母又は父が入院した時に医療保険及び受給者負担した残りの額を助成する。	105件 129,785円	A:概ね計画通りに実施	B:現状と変わらない	C:見直す必要がない	B:現状のまま								引き続き継続して実施	住民課	
			68	高校生医療費助成事業	高校生の入院・通院に係る一部負担金を全額助成する	—												実施予定(対象56人)	住民課	
			69	入学祝金支給事業	小学校入学時に祝金を贈呈し、保護者の経済的負担を軽減し、子育てを支援する。	—												平成28年度実施 祝金50,000円/名×20名=1,000,000円	教育委員会	

基本目標	主な内容	主な施策	番号	事業名	事業の概要	平成27年度実施結果	平成27年度事業の評価 事業・施策の実施に関して あてはまるものを選択してください。				取組みの課題 事業・施策の実施に関して あてはまるものすべてに○を選択してください。						平成28年度事業計画 取組み課題への改善策	担当課		
							① 実施 状況	② ニ ー ズ の 方 向 性	③ 見 直 し の 余 地	④ 方 向 性	① （事業が ニーズと 合ってい ないなど）	② （広報・啓蒙に 関する課題 ）	③ （実施体制の 課題 ）	④ （関係機関・事 業者との連 携不足など）	⑤ （事業が 算の課題 ）	⑥ （その他の 課題 ）				
		立を支援します	70	給食費助成	小学校保護者負担110円(4・5月100円) 中学校保護者負担130円(4・5月120円)	真竜小学校 13,024食分 北竜中学校 6,832食分 給食費助成額は、2,376,194円	A:概ね計 画通りに実 施	A:増加の 方向にある	B:一部見 直す必要 がある	A:拡大す る必要があ る							○	平成28年度全額補助実施 予算額 190食/年 小学校 3,036,000円 中学校 1,881,080円 なお、平成28年度～平成31年度(4年間)	教育委 員会	
			71	小・中学校修学旅行費助成	小・中学校修学旅行費助成する 小学生 10,000円 中学生 40,000円	—												小・中学校修学旅行費助成する 小学生 10,000円 中学生 40,000円	教育委 員会	
			72	奨学資金貸付事業	高校生 2万円/月 短大生・専門学校 3万円/月 大学生 3.5万円/月 無利 子で貸し付け	貸付実績 高校生 2万円/月× 0名 短大・専門学校生 3万円/月× 3名 大学生 3.5万円/月× 15名	A:概ね計 画通りに実 施	B:現状と変 わらない	C:見直す 必要がない	B:現状の まま								○	貸付に関しては、昨年同様	教育委 員会
			73	公園広場施設整備	学校・公園遊具の老朽化や子育て支 援並びに移住定住策として子どもと親 が清潔で安全・安心して遊べる空間を 整備する	老朽化した遊具は、危険性があるので撤 去した。 滑り台二基及び遊動円木など、しかし、新 規の設置については次年度となった	D:25%程度 実施	A:増加の 方向にある	C:見直す 必要がない	A:拡大す る必要があ る								○	和公園・真竜小学校遊具については、更に 老朽化した遊具は撤去し、図書館裏に遊 具をまとめ遊具を設置する。 予算額 約9,222千円	企画振 興課 住民課 教育委 員会
			74	高等学校等通学等助成金	定住促進として高等学校に通学する又 は下宿する高校生を持つ親に助成金 を交付する	52名 月額5,000円	A:概ね計 画通りに実 施	C:減少す る方向にあ る	C:見直す 必要がない	B:現状の まま									昨年同様実施	企画振 興課
		時代に合った地域の形成をお支援します	21	多目的商業複合施設計画策 定(再掲)	エコープ北竜店撤退による代替え店 舗等の建設及び買い物弱者サービス・ 地域コミュニティスペースの実施計画 を立てる	アンケート結果に対応するため、8回に亘 る検討委員会で検討したが、入店予定だ ったスーパーの撤退により足踏み状態とな った。	C:50%程度 実施	A:増加の 方向にある	B:一部見 直す必要 がある	B:現状の まま	○						○	ホクレン商事の営業延期を願い、H29年度 補助事業で行くか、単費で建設するか早期 に決定したい。	産業課 企画振 興課	
			22	多目的商業複合施設整備 (再掲)	エコープ北竜店撤退による代替え店 舗等の建設。 用地買収並びに整地及び建設。	一部土地の購入とコンサルタントによる図 面整備を行った。	C:50%程度 実施	A:増加の 方向にある	B:一部見 直す必要 がある	B:現状の まま	○							○	用地買収と移転費等の費用支払いにより 用地を確定し、入店方法も検討したい。	産業課 企画振 興課
			75	スクールバス住民混乗運行 業務	スクールバスに一般町民の乗車を可能と し、地域公共交通を確保する	利用者の状況を検討し竜西和線の1便を 乗合タクシー運行へ移行した	B:75%程度 実施	B:現状と変 わらない	C:見直す 必要がない	B:現状の まま									昨年同様実施	企画振 興課
			76	乗合タクシー運行事業	交通弱者対策として乗合タクシーを運 行する	延べ利用者数720名	B:75%程度 実施	B:現状と変 わらない	C:見直す 必要がない	B:現状の まま								○	広報周知を図り交通弱者対策として乗合タ クシーを運行する	企画振 興課
			43	道の駅EV充電器設備の設 置(再掲)	環境にやさしく、今後急速な普及が見 込まれる電気自動車の充電器を道の 駅前駐車場に設置する	4基を設置	A:概ね計 画通りに実 施	A:増加の 方向にある	C:見直す 必要がない	A:拡大す る必要があ る								○	広報等により周知を図り、EV充電器の利 活用を図る	企画振 興課
			77	住宅用太陽光発電助成事業	住宅用太陽光システムを住宅の屋根 等へ設置し、太陽光により発電した余 剰電力を電力会社に販売することが出 来る機能を備えたものに対して21万円 を限度として補助する。	平成27年度については、住宅新築及び改 築に伴い設置された方はいなかったが、今 後も継続して事業を進めてゆきたい。	E:着手す ることがで きなかつた	B:現状と変 わらない	C:見直す 必要がない	B:現状の まま								○	町広報誌により事業内容を掲載する。	建設課
			78	外国語指導助手派遣事業業 務	外国語教育について、外国語指導助 手(ALT)1名を配置し、各学校の授 業・学童保育や保育所などにおいて、 英語の発音に慣れ親しみ、異文化理 解やコミュニケーション能力の育成に 努めたほか社会教育事業でも活用を図 った。	外国語指導助手(ALT)1名を配置し、各 学校の授業・学童保育や保育所などに おいて、英語の発音に慣れ親しみ、異文化 理解やコミュニケーション能力の育成に 努めたほか社会教育事業でも活用を図 った。	A:概ね計 画通りに実 施	B:現状と変 わらない	C:見直す 必要がない	B:現状の まま								○	昨年同様実施	教育委 員会
			79	夢の教室開催支援事業	アスリートの方に依頼しての「夢の教 室」を開催し、豊かな心を育む	小学校5年・6年生を対象に11月11日に実 施 講師 元冬季オリンピック選手リュ ージュ小口貴久氏 金額240,400円	A:概ね計 画通りに実 施	B:現状と変 わらない	C:見直す 必要がない	B:現状の まま								○	毎年実施を行う。今年度も小学5年・6年生 を対象に実施する。11月16日実施予定 予算額 400,000円	教育委 員会

基本目標	主な内容	主な施策	番号	事業名	事業の概要	平成27年度実施結果	平成27年度事業の評価 事業・施策の実施に関して あてはまるものを選択してください。				取組みの課題 事業・施策の実施に関して あてはまるものすべてに○を選択してください。						平成28年度事業計画 取組み課題への改善策	担当課				
							① 実施 状況	② ニ ー ズ の 方 向 性	③ 見 直 し の 余 地	④ 方 向 性	① ニ ー ズ に 関 す る 課 題 (事業が ニ ー ズ と 合 っ て い ない など)	② 広 報 ・ 啓 蒙 に 関 す る 課 題 (認知度 が 低 い など)	③ 実 施 体 制 の 課 題 (人員不 足・業 務多 忙・教 育不 足 など)	④ 関 係 機 関 ・ 事 業 者 と の 連 携 不 足 な ど	⑤ 予 算 が 足 り な い な ど	⑥ そ の 他 の 課 題						
時代に合った地域づくり	高齢者の生活を支援します		31	地域支え合いセンター整備事業(再掲)	高齢化の進展にともない、独り暮らし高齢者の増加が予想される。そういった方や障がい者、子どもなど誰もが気軽に利用出来る「地域住民の憩いの場」となる拠点作りを行う。	地域の拠点となる施設整備の検討、更には地域ボランティアの組織結成に向けて、地域住民から募集を実施した	D:25%程度実施	B:現状と変わらない	B:一部見直す必要がある	A:拡大する必要がある								地域の拠点となる施設整備計画、並びにボランティアの組織結成、今後の運営について検討する。	住民課			
			80	健康ポイント制度事業	特定健診・がん検診の受診や、住民課の実施する事業など、対象事業への参加に対しポイントを付与し、一定のポイントがたまると賞品などと交換する	検討したが、実施なし	E:着手することができなかった	B:現状と変わらない	A:全部見直す必要がある	B:現状のまま										引き続き検討する	住民課	
			81	認知症対策の推進	高齢社会の進展により、認知症が大きな社会問題となってきており、認知症の啓蒙や、認知症サポーター養成講座の開催により安心安全な社会の普及を図る	認知症サポーター養成講座の開催	A:概ね計画通りに実施	B:現状と変わらない	C:見直す必要がない	B:現状のまま											認知症に関する理解をさらに深めるため、講座の他にも有効な方法を検討する。	地域包括支援センター
			82	訪問介護員支援事業	ホームヘルパーに対する支援を助長する。	4名	A:概ね計画通りに実施	A:増加の方向にある	B:一部見直す必要がある	A:拡大する必要がある										平成28年度より2名増員	住民課	
			83	生活支援・生きがい対策事業	高齢者が自立した生活を確保できるよう、活動支援通所、生活管理指導員派遣、配食、移送、除雪などの必要な生活支援を行い、高齢者の生きがい対策と福祉の増進を図る	計画どおり実施、10,005,265円	A:概ね計画通りに実施	C:減少する方向にある	B:一部見直す必要がある	C:縮小する必要がある										今後(平成29年度以降)に実施される、介護保険の総合事業との調整が必要	住民課	
			84	介護予防支援事業	介護認定を受ける前までの生活支援等の各サービスを実施する。	サービスを必要としている人に対し、ヘルパーによる生活支援、配食サービス等を行った。	A:概ね計画通りに実施	A:増加の方向にある	C:見直す必要がない	B:現状のまま										必要なサービスの掘り起こしと、提供の方法の検討	地域包括支援センター	
			85	福祉灯油等助成事業	老人家庭等に暖房用灯油代、電気代の一部を助成し、在宅福祉の向上を図る。	灯油価格の大幅な値下がり、灯油代助成金を10,000円から7,000円に変更して実施。136世帯 919,000円 (灯油7,000円×103世帯、電気6,000円×33世帯) (高齢者世帯126、その他世帯10)	A:概ね計画通りに実施	A:増加の方向にある	C:見直す必要がない	A:拡大する必要がある										助成対象にガスによる暖房も加え、基準日(12/1)の灯油価格により、助成額を検討する	住民課	
			86	福祉除雪サービス助成事業	老人家庭等の玄関前及び屋根・庭の除雪について、業者等に委託している世帯への除雪費の一部を助成し、在宅福祉の向上を図る。	85世帯、1,271,995円 (高齢者世帯81、身障・病弱世帯4)	A:概ね計画通りに実施	A:増加の方向にある	C:見直す必要がない	B:現状のまま										引き続き継続して実施する	住民課	
			87	高齢者運転免許返納サポート事業	自主的に免許証を返納した高齢者に対し、タクシー券5万円分(有効期間3年間)を交付する。	15名に交付	A:概ね計画通りに実施	A:増加の方向にある	C:見直す必要がない	B:現状のまま										引き続き継続して実施する	住民課	
			30	介護基盤(グループホーム)整備事業(再掲)	平成27年度に介護サービス基盤等整備事業により整備するグループホーム(9床増床)非営利活動法人リスペクトに対し、同補助金を交付する。	介護サービス提供基盤等整備事業交付金により、グループホーム9床増床を実施した。施設整備 34,560千円、開設準備経費 3,697千円	A:概ね計画通りに実施	A:増加の方向にある	C:見直す必要がない	A:拡大する必要がある										28年度には計画がないが、29年度にスプリングラー設置の計画がある。	地域包括支援センター	
88	高齢者事業団シルバー人材センター支援事業	高齢者がこれまで培ってきた技術と能力を発揮し、地域社会に貢献するために助長する。	会員16名、1,000,000円	A:概ね計画通りに実施	B:現状と変わらない	C:見直す必要がない	B:現状のまま										引き続き継続して実施する	住民課				
89	人にやさしい住環境整備扶助費	介護を必要とする高齢者や身体障害者の住宅改修費用の助成する(介護保険の対象外分として費用の1/2を助成、500,000円限度)	実績なし		B:現状と変わらない	C:見直す必要がない	B:現状のまま										ニーズの発生により対応	住民課				